

質美地域のみなさんと防災交流しました

★土砂災害のリスクを洗い出そう

7月15日、質美振興センターで、住民の皆さんと関西大学の学生(近藤ゼミ・小山ゼミ)が集まり、大雨が降った際に被害が出そうな危険箇所の洗い出し作業を行いました。昨年の豪雨の経験もふまえて、多くの情報を地図上に書き出しました。

今後は、局地的な雨量の観測を行いながら、避難態勢の充実に向けて進めていきます。旧・質美小学校には、写真(右)にあるような雨量計を設置しました。



上乙見地区でも雨量観測プロジェクトが始動します

★雨量観測プロジェクト

時期を同じくして、上乙見地区でも「雨量観測プロジェクト」が始まりました。まずは雨の降り方の癖をつかみ、その上で、雨が降り続いた場合の土砂災害発生のリスクなどを確かめる共同研究事業です。写真(上)は、打ち合わせをした際の様子です。

上乙見地区では、昨年の7月に土砂災害が発生しました。写真(下)は、被災直後、学生が現地を視察させていただいたときの様子です。あのとき、山際は特に雨の降り方が激しく、一気に危険が迫っていたと考えられます。こうした局所的な現象を、客観的なデータをもとにしっかり把握しておけば、今後、余裕をもって避難する際の指針にできる可能性があります。

このプロジェクトはまだ始まったばかりですし、全国的にも珍しい取り組みですので、大きな成果が出るまでには時間がかかるかもしれません。しかし長期的な展望をもって進めていきたいと思います。

